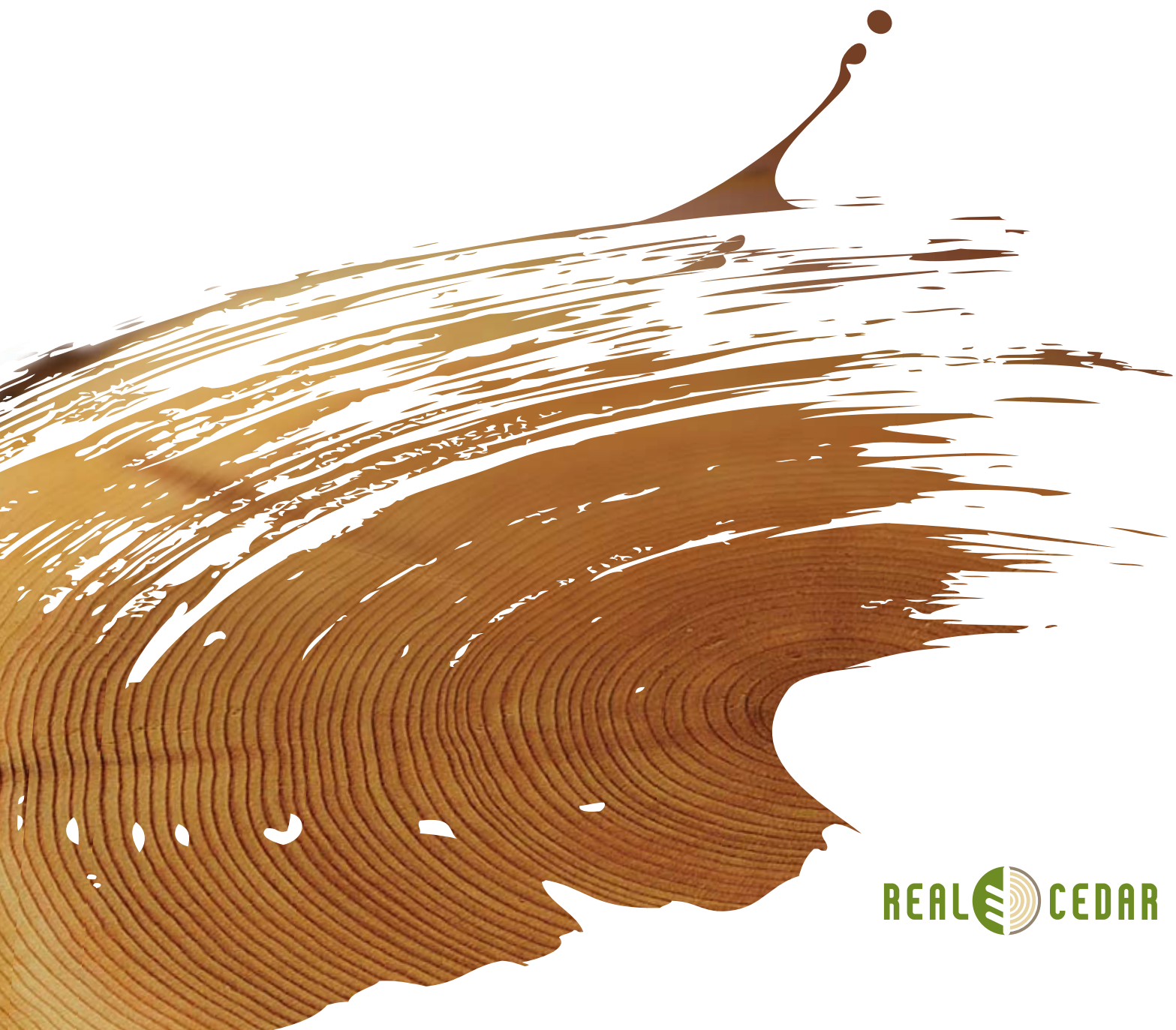


How to Finish

WESTERN RED CEDAR

ウエスタンレッドシダーの塗装方法

このガイドは、ウエスタンレッドシダー材の美しさを長持ちさせるための、塗装やメンテナンスに必要な「最良の方法」をまとめたものです。



REAL  CEDAR



はじめに INTRODUCTION

ウエスタンレッドシダー(WRC)は優れた天然の建築材料の一つです。その性能と類まれな美しさには定評があり、世界中の住宅や非住居用建築物に温かみや個性、耐久性をもたらしています。ウエスタンレッドシダーの自然の耐久性と物理的な特性は、外壁、板材、デッキなどの外装用途に、そしてパネリングなどの内装用途に理想的なものです。

ウエスタンレッドシダーの仕上げは、最終的にはお客様のご要望で決まります。自然な風化にまかせるか、または最高の耐候性を発揮する保護塗装を施して、木材の自然な美しさを生かしたり、幅広い色からコーティングを選択してさらに美しさを醸し出すなど仕上げを思いのままにお選びいただけます。このガイドではこれら両方の塗装について説明し、お客様の施工にとって最適な方法を選択するために必要となる基本的な情報を提供します。

自然な風化 NATURAL WEATHERING

デッキや外壁製品に塗装を施さず自然な風化にまかせたい場合は、ウエスタンレッドシダーが最適です。

この仕上げは以下のような場合に適しています。

1. 自然に風化したウエスタンレッドシダーのシルバークレーの風合いを好まれる。
2. シダー製品の塗装の手入れに時間や手間を費やしたくない。
3. 高層ビルの外壁など、手入れできない建造物のため、ウエスタンレッドシダーの塗装のメンテナンスが困難。
4. ウエスタンレッドシダーの塗装による環境への影響が心配である。

これらはすべて実用的な考えであり、実際のところ、ウエスタンレッドシダーの外壁とデッキは塗装コーティングを施さなくても、設計、施工、およびメンテナンスの品質が良ければ様々な環境で長持ちします。

シダー製品に塗装を施さないということは、長年にわたる変化を意味するということを理解してください。この仕上げを選択して自然な風化にまかせる前に、よく考慮する必要があります。ウエスタンレッドシダーは風雨にさらされると、天然の色が褪せてグレーになります。非常に乾燥し

た気候では、シルバークレーになりますが、その他のほとんどの気候では、変化する湿度と直射日光により、ウエスタンレッドシダーの風化は不均一に進み、斑点の浮き出たくすんだ色合いのグレーになることがよくあります。

風化したシダーを塗装加工やステイン加工を施すことのできる状態に復元する場合は、木材の表面をコーティングできるように処理するために多大な労力が必要となりま

す。見た目を完全に均一なグレーにする場合は、市販の漂白オイルまたは風化ステインを使用するといでしょう。これは実質的には色素と他の添加剤を含む撥水性塗料であり、粗挽き仕上げのシダーで最も効果を表します。この見た目を維持するために、漂白ステインは定期的に塗り直す必要があります。

自然な風化の効果は通常ほんの「皮一重」(1~2mm以下)であり、その下のシダーはほとんど変化しませんが、建造物の設計、シダーの施工、および定期メンテナンスに特別な配慮が必要です。コーティングによる水分侵入に対する保護が施されていない場合(特に木口シーリング)、ウエスタンレッドシダーが水分にさらされた後でもすぐに乾くような対策を施工過程で取り入れる必要があります。この対策が取られないと、腐食する可能性が高くなります。

外装用途に使用されるシダー製品にはすべて、見た目を最良に保つためのある程度のメンテナンスが必要です。ウエスタンレッドシダーに塗装を施さないことを選択した場合でも、製品の美しさと自然な風合いを維持するためには、土埃やうどん粉菌などの汚染物質を定期的に取り除いてください。

ウエスタンレッドシダーの外壁とデッキのライフサイクルアセスメント (LCA)¹ により、建物用の製品の中で最も環境に優しいことが示されました。特に溶剤性仕上げのコーティングと、その塗布を繰り返すことにより、シダーの外壁とデッキのLCAの評価が低下します。そのために塗装を施さないことを選択することがあります。幸いにも、より環境に優しい水性塗料のコーティング剤が入手できますので、これらのコーティング剤の使用を検討してください。

¹ ウエスタンレッドシダーの外壁とデッキのライフサイクルアセスメント (LCA) により、建物用の製品の中で最も環境に優しいことが示されました。



FACTORS

AFFECTING FINISH RETENTION

塗装の維持に影響する要因

塗装の効果は、ウエスタンレッドシダーの自然な特性、製造の特性、および施工など、多数の要因により影響を受けます。

自然な特性

ウエスタンレッドシダーの最も重要な特徴は、優れた寸法安定性、きめの細かい質感、成長パターン、そしてヤニを含まないことです。これらの特徴を持つ非常に優れた建材であるため、様々な種類の塗装を施してそれを長持ちさせることができます。

寸法安定性とは、水分の吸収や発散時の膨張や収縮に対する木材の耐性のことを指します。ウエスタンレッドシダーのような軽くて低密度の木材は、高密度の木材よりも収縮の度合いが低くなります。他の木材と比較してウエスタンレッドシダーのこの優れた寸法安定性により、塗装を長持ちさせることができます。

木肌、つまり表面の仕上がりは、鋸、かんな、またはサンダーによる加工で決まる表面の滑らかさのことを指し、木材細胞の大きさにより異なります。塗装は、木肌の粗い木材よりも滑らかで木肌の細かい木材の方が美しく仕上がります。ウエスタンレッドシダーは、他のほとんどの針葉樹や軟材に比べて、木材細胞が小さく、より細かい木肌を持っています。

成長パターンとは、薄い色の低密度の春目と、濃い色の高密度の夏目が交互に現れる年輪のことを指します。これら2種類の年輪で、1年間の木の成長を表します。塗装は低密度の春目の方が美しく仕上がります。ウエスタンレッドシダーは、他のほとんどの針葉樹種に比べて春目の割合が高いのが特徴です。

大部分の針葉樹種は塗料の接着や浸透を妨げるヤニを含みますが、ウエスタンレッドシダーはヤニを全く含みません。

製造の特性

材面:ウエスタンレッドシダー製品には、滑らかな表面(プレーナー加工)と、粗挽きの表面(この挽きまたは粗いヤスリかけ)のいずれの加工も可能です。一般的には、粗挽きの表面は塗料の木材への機械的な接着に非常に優れています。滑らかな表面のウエスタンレッドシダーには、2度塗りをお勧めします。

含水量:水分を多く含む(20%以上の含水量)木材の塗装は失敗する可能性が高くなります。製品の耐用年数期間内で含水量がほとんど変化しない安定したレベルで、ウエスタンレッドシダーに塗装を施すのが最良です。北米では、このレベルの含水量は約12%です。製造時に人工乾燥させたウエスタンレッドシダーが最良の選択といえます。

施工

シダーおよびその塗装の効果は、施工により大きく変わります。ウエスタンレッドシダーの現場への搬送から施工および仕上げまで、すべてにわたり注意深く作業する必要があります。木材の含水量(耐用年数期間の前と間のいずれも)、直射日光、および表面の汚染物質(泥)は、塗装の効果を低下させる重要な要因です。

効果を最大限引き出すために必要な多くの施工技術を詳細に述べることはこのガイドの範囲ではありませんが、次の簡単なチェックリストをお役立てください。

- ・ ステンレス鋼、溶融亜鉛メッキ、またはアルミの締め具を使用している。
- ・ すべての開口部、幅木および結合板の上部に雨押さえを取り付けている。
- ・ 軒と切妻に適切な張り出しを設けている。
- ・ 窓枠とドア枠の上部に雨押さえを取り付けている。
- ・ 外壁や板材と地盤面との間に、少なくとも150mmの間隙がある。
- ・ 外壁や板材と屋根材との間に、少なくとも50mmの間隙がある。
- ・ 壁の暖面側に防湿層を取り付け、壁内部の結露を最小に抑えている。
- ・ 台所、洗濯室、および浴室など湿度の高い場所を換気している。
- ・ 屋根裏と狭い空間を換気している。
- ・ シダーを現場の要素から保護している。
- ・ ウエスタンレッドシダーを取り付ける前に、現地の湿度条件に慣れさせる。
- ・ 取り付け前に現場でカットした木材の、表面を含む6面すべてにプライマーまたはステインを塗布している。木口を完全に保護するには2度塗りが必要であることに注意してください。

雨よけの上部に外壁を取り付けると、外壁の裏面が濡れること、または濡れた状態のままになることをかなり防ぐことができます。この施工により、壁構造に浸透した水分が排出され、水分が残りません。雨よけはまた、外壁内の水分の不均一性を最小化するため、反りや抽出成分の滲出が生じる可能性が低くなります。その結果、塗装効果が大幅に向上します。

ウエスタンレッドシダーの外壁の取り付けに関する総合的な情報については、ウエスタンレッドシダー輸出協会(WRCEA)の出版物、「ウエスタンレッドシダー材外壁の取り付け方法」を入手してください。



ウエスタンレッドシダーの外壁と板材の外装用塗料

EXTERIOR FINISHES FOR

WESTERN RED CEDAR CLADDING AND TRIM

ウエスタンレッドシダーの外壁または板材の塗料を選択する場合、ステインまたは塗装の前に長期間放置して直射日光や水分にさらすことは避けてください。数週間でも日光や風雨にさらされて風化した表面は、ウエスタンレッドシダーの塗装やソリッドステインの保持力が劣化します。風雨にさらされた期間が長ければ長いほど、塗装が短期間で劣化してしまいます。

新しくミル加工されたシダーの自然な色合いは、紫外線遮断剤を含む仕上げ剤を塗布することにより保持できます。効果的な殺カビ剤と紫外線保護剤の両方を含んだ仕上げ剤の使用をお勧めします。これらの仕上げ剤に含まれる個体樹脂の割合が低い場合、より高度なメンテナンスが必要となります。浸透性オイルベースのステインまたは淡い色素の自然な色調を適用して、色を統一しながら木材を保護することもできます。

外壁と板材の塗料の選択

屋外用ウエスタンレッドシダーに施す塗料は、外観に対する好みと必要とされる保護の度合いによって異なります。塗装された木材は2つの大きく異なった素材の組み合わせであり、木材と塗料の最も効果的な耐久性を持った組み合わせ得るためには両者の特質を考慮に入れなければなりません。いずれのタイプの塗料を選ぶにせよ、製造業者のアドバイスに従ってください。ウエスタンレッドシダーの美しく仕上がるという特徴は、適切ではない塗料や品質の悪い塗料、または不適切な塗装方法を用いた場合には保証されません。表面すべ

て(表、裏、端、辺)に塗装することによって、最良の塗装効果が得られます。

一般的には、ウエスタンレッドシダーの塗料は次の4種類に分類されます。(1) ペンキやソリッドカラー・ステインなどの不透明コーティング、(2) 半透明ステイン、(3) 透明ステインなどの自然な塗料、(4) オイル。木材防腐剤や難燃材のコーティングもいくつかの点で塗料に分類されますが、本ガイドで解説する内容の範囲には含まれません。ウエスタンレッドシダーの外壁と板材の外装用塗料に関する推定耐用年数の要約を以下に示します。

図1:ウエスタンレッドシダーの外壁と板材1における外装用塗料の適用性と推定耐用年数

塗料	プレーナー加工の滑らかな表面のWRC ²		粗挽き加工の表面のWRC	
	適用性	推定耐用年数(年)	適用性	推定耐用年数(年)
ペンキ ³	高	最大10	高	最大12
ソリッドカラー・ステイン ³	中	3~5	高	4~6
漂白オイル	中	3~5	高	5~6
半透明ステイン ⁴	中	1~3年	高	2~4
撥水防腐剤およびオイル ⁵	高	1~2	高	1~2

¹調査観察から収集したデータ。推定耐用年数の予測値は、北米大陸の平均的な場所に対するものです。推定耐用年数は、極端な気候や、砂漠、沿岸、深い森、または建物の向きなどの露出状況により変化します。

²柵目シダー

³プライマーとトップコートの2種類の塗装の推定耐用年数。2度塗りによりコーティングの寿命が延びます。

⁴コーティングの回数については、メーカーの推奨内容に従ってください。

⁵表面にうどん粉菌が発生すると、洗浄と、状況によっては再仕上げの必要があります。

投資額に見合う品質

ウエスタンレッドシダー用の塗料には、必ず信頼のできる供給業者が取り扱う一流の製品を購入するようにしてください。

不透明塗料 OPAQUE FINISHES

プライマー

ウエスタンレッドシダーは、魅力的な色合い、優れた安定性、および天然の耐腐敗性を引き出す水溶性の抽出物を含んでいます。しかし、抽出成分の滲出を制御するための特別なプライマーコートを使用しなければ、これらの抽出物によりラテックスペンキとソリッドカラー・ステインが変色することがあります。これらのステイン・ブロッキング・プライマーには、アルキドオイルおよび水性塗料があります。アルキドオイルベースのプライマーは通常、水溶性の抽出物による変色に対して最も効果のある保護剤です。容器のラベルには、このコーティング剤はウエスタンレッドシダー用のステイン・ブロッキング・プライマーとして最適であるという内容が示されています。

ペンキ

ペンキは、天候による風化や水分による湿潤からほとんどの表面を保護するとともに、色調を出し、木材の欠点を隠すこともできます。塗料により木材の水分の吸収を軽減できますが、ペンキ自体は保存料ではありません。



水性塗料、アクリル(ラテックス)、アクリルエナメルおよび溶剤性塗料(アルキドおよび油性)など、あらゆる種類の塗料がウエスタンレッドシダーには適しています。しかし、良質のラテックス塗料は湿潤と乾燥の水分サイクルの期間における木材の寸法変化を経て、その機械的な接着性を維持することが試験結果により示されています。このことから、屋外で風雨に長期間晒される場合には、一般的には高い弾性のある塗料は弱い塗料よりも高い接着性を維持するといえます。

ソリッドカラー・ステイン

ソリッドカラー・ステインは、ペンキよりも固形成分を含む割合の低い不透明の塗料です。ペンキ同様、ソリッドカラー・ステインはウエスタンレッドシダーを紫外線による劣化と水分から保護します。多種多様な色調があり、木の自然な色を変化させますが、シダーの木質の特徴は残ります。これらはペンキと同様に、含浸型ではなく造膜型の塗料です。ソリッドカラー・ステインを塗布する前に、ステイン・ブロッキング・プライマーを塗布してください。ソリッドカラー・ステインは、ラテックスまたは油性塗料として使用できます。

ソリッドカラー・ステインは木材の木肌を見せるために開発されました。これらは半固体ステインとして知られ、木材の見た目に対する効果は、後述のように、ソリッドカラー・ステインと半透明・ステインの半ばくらいです。

自然な塗料 NATURAL FINISHES

ウエスタンレッドシダーの多くのユーザーは、木材の自然な色や見た目を生かした塗料を好みます。屋外で晒されるウエスタンレッドシダーの自然な見た目を保つために、定期的なメンテナンスが必要となります。以下の製品を使用することにより、シダーの自然な美しさを維持しながら、さまざまな度合いで天候から保護することができます。

透明ステイン

これらのステインはシダーの見た目を変えません。木材の色(色調)をわずかに変化させるのみです。透明ステインは半透明ステインと組成は類似していますが、含まれる色素は少なくなっています。透明ステインの組成にはうどん粉菌の増殖や、菌類発生の原因となる腐敗を抑制する殺菌剤が含まれているため、木材の耐久性がさらに高まります。水溶性および溶剤性の塗料が使用できますが、これらの無着色または淡い着色の塗料では、日光の紫外線と水分による損傷から保護できる度合いが低くなります。そのため、頻りに塗り換える必要があります。しかし透明ステインの塗り直しは簡単で、表面の準備に最も手間がかかりません。

半透明のステイン

溶剤性オイルベースで半透明の浸透性ステインは、木材表面に浸透し、多孔性であり、ペンキとは異なり表面膜を形成しません。これらの塗料は、風雨に完全に晒されるウエスタンレッドシダーに自然な見た目を出す場合には最適の選択です。これらのステインは滑らかな表面または粗挽き仕上げ表面のウエスタンレッドシダーのいずれにも使用できますが、粗挽き仕上げの表面により適しており、長持ちします。これらのステインにはシダーの色調を始めとする色素が含まれ、日光の紫外線による損傷からシダーの表面をある程度保護することにより塗装の耐久性を高めます。外壁の耐用年数は3~6年で、シダー表面の質感、塗布されたステインの量、および木材表面に当たる日光の強度により異なります。

ラテックスの半透明ステインは、見た目は溶剤性ステインと同様ですが、ほとんど浸透性のない薄膜を形成します。この膜は通常、溶剤性ステインと同じ耐久性を発揮するほど厚みはなく、木材表面からはがれ落ちて品質を劣化させることがあります。ラテックス半透明ステインでコートされたシダーの塗り換えには、より入念な表面処理が必要です。現在、多くのステイン製造業者がシダーに浸透する水性ステインを開発中です。しかしこれまでの開発成果は、従来の油性溶剤性ステインの特性を再現するにとどまっています。環境基準が厳しくなり溶剤性ステインの使用に対する制限がより強化されているため、現在進行中の研究は、シダー用の浸透浸食性のラテックス半透明ステイン塗料が近い将来利用可能になることを示唆しています。

注: ラッカー、セラックニス、ウレタン、ワニスなどの透明で、柔軟性のない造膜塗料は屋外に使用されるウエスタンレッドシダーにはお勧めできません。紫外線が透明な塗膜を透過し、木の劣化を招きます。コートの回数にかかわらず、塗膜は脆くなって大きな割れが起こり、劣化に至るといった結果になります。



FACTORY 工場での塗装/下塗り FINISHING/PRIMING

最適な効果を得るために、WRCEAではウエスタンレッドシダーに下塗りや塗装を事前に施して現場に搬送することを推奨しています。

工場の下塗りは、その名前が示すとおり、環境の調整された工場で各ボードの6面すべてへのコーティング処理が機械的に行われるものです。コートされたボードは、乾燥させてから現場へ出荷されます。

現場へ搬送された下塗り済みの外壁や板材のボードは、取り付けまで清潔で乾燥した状態を保ってください。取り付け前に現場でカットされたボードには、下塗りを再度施してください。ほとんどの下塗りの耐候性は90日が限度とされているため、できるだけ早くトップコーティングを完了させる必要があります。

工場仕上げは上記の処理と同様ですが、ボードのまとまりごとに施工業者や家主が選択した色で、アクリルラテックス塗料、ソリッドステイン、または自然なステインのトップコートを1~2種類組み合わせる追加で塗布することができます。

工場で塗装された外壁材の取り付け時に釘で締め付け過ぎないことが重要です。周囲の木とコーティングが損傷してしまいます。締め付け過ぎた釘は、この目的用に特

別に設計された外装用の木製パテで陥没部を埋めて、すぐに修復する必要があります。トップコートを傷つけないように、必要な箇所または現場でカットした部分に修正を施してください。

適切に処理された工場での下塗り/塗装の内容は以下のとおりです。

- ・ 各ボード6面すべて(表、裏、端、辺)に対して、プライマー/ステインの推奨被覆率で均一なコーティングを塗布
- ・ 適切な乾燥仕上げを行うための調整された環境
- ・ 日光への露出(紫外線による劣化)とうどん粉菌や土埃による汚れから表面を保護するためのコーティングを塗布した木材
- ・ 取り付け後のラップマーク、しみ筋、および収縮ラインの除去
- ・ 年間を通じていつでも製品の取り付けが可能
- ・ 製品には多くの場合にコーティング保証が付帯



APPLICATION TECHNIQUES FOR SIDING AND TRIM

外壁と板材の塗装技法

ウエスタンレッドシダーを塗装することは、耐久性と最適な効果のためには、塗料の組み合わせの選択と同じくらい重要です。塗料はブラシ、ローラー、スプレーまたはディップを用いて塗布します。塗装技法、塗料の質と量、板の表面状態、および塗布時の天候状況は、塗装の寿命に大きく影響します。製造業者からの製品に対する表面処理と塗布のアドバイスとあわせて、本ガイドで示す塗装のガイドラインに従ってください。

塗料とクリーナーは化学物質であり、接触、摂取、または吸入により健康に害をもたらす恐れがあります。そのため、製品の購入前に製造業者からの塗装に関するアドバイスと警告すべてをよくお読みください。

ペンキとソリッドカラー・ステイン

上記に説明した表面処理を施した後、以下の手順に従ってペンキの寿命を最大にします。

1. 表面処理を施したあとできるだけ早く、木材の含水量が20%未満の間に、製造業者が推奨している塗り率で良質のステイン・ブロッキング・プライマーを塗布します。プライマーコートはペンキコートすべての基礎を形成するため非常に重要なものであり、トップコートのベースがオイルまたはラテックスのいずれの場合にも使用します。プライマーは表、裏、端、辺のすべてに使用できるため、外壁の取り付け前に塗布するのが最良です。外壁の裏側または壁側の下塗りには、「バックプライミング」と呼ばれることもよくあります。これを行うことにより反りを防ぎ、ペンキを長持ちさせます。

2. プライマーに重ねてトップコートを塗布します。コーティングの塗布に最も有効な方法は刷毛塗りであると言

われています。2種類のトップコートが塗布される場合、最初のコートを塗布したあと製造業者が推奨する期間を空けてから、2番目のコートを塗布します。寒冷や湿気の多い天候の場合、2番目のコートの塗布までにさらに期間を空けて乾燥させてください。

ソリッドカラー・ステイン

ウエスタンレッドシダー・ソリッドカラーのステインを塗布するには、刷毛、ローラー、またはパッドを使用します。通常は刷毛塗りが最適です。これらのステインにはペンキと同様の効果があり、同様に塗布できます。新材にはソリッドカラー・ステインを1度塗っただけでは十分とはいえません。プライムコートにトップコートを重ね塗りすることで、木材がより強力に保護され、耐用年数が長くなります。木材に下塗りを施したあとでステインを2度塗りすると、最適な効果が得られます。2種類のコートをプライマーに重ね塗りする場合は、アクリルラテックスのソリッドカラー・ステインのトップコートが一般的には他のいずれのトップコートよりも優れています。

ペンキとは異なり、ソリッドカラー・ステインにはラップマークが残ります。ラップマークを防ぐには、半透明の浸透性ステインで説明する手順に従ってください。

半透明ステイン

半透明ステインを塗布するには、刷毛、スプレー、パッド、またはローラーを使用します。通常は刷毛塗りにより最良の浸透性と効果が得られます。スプレーまたはローラーで塗布したあとに、刷毛で塗料をなぞるという方法もあります。油性ステインは一般的に薄く流れやすいため、きれいに塗布できないことがあります。ラップマークは連続した長さのステインを施すことにより防げます。この方法により、すべて塗り終える前に、ステインエリアの前端

の乾燥を防ぎます。できれば乾燥率がより低い日陰で作業を行ってください。ステインをスプレーしたあとに刷毛でなぞらなければ、風化するにつれて斑点が浮き出やすくなります。

粗挽きのウエスタンレッドシダーに2種類の浸透性油性ステインを塗布すると、1種類のコートの場合よりも耐用年数は長くなりますが、これは木材に2番目のコートを塗布できる場合にのみ適用できます。塗布中にステインを完全に混ぜて、沈殿や色変化を防いでください。異なる銘柄やバッチのステインを混ぜないでください。

ラテックスの半透明ステインは木材表面を透過しませんが、塗布が容易で、ラップマークを形成しにくいという特徴があります。これらのステインは造膜型であり、油性ステインほど耐久性がないこともあります。

現場での塗装 FINISHING ON SITE

塗装が施される木材表面の状態は、塗装の効果や寿命に大きく影響することがあります。

新しい(風雨に晒されていない)ウエスタンレッドシダー

新しいシダーの外壁と板材は施工前、施工中および施工後ともに雨水に当たらないよう注意する必要があります。木材が2週間以上雨水に晒されず、清潔で乾燥した状態が保たれる場合は、特別な表面処理はめったに必要ありません。含水量は予防措置として常に確認してください。含水量は20%以内であることが必要で、木材が土埃や油、その他の異物で汚れた場合は、必ず除去します。土埃は表面から洗い落としてください(洗浄と色褪せの節を参照)。

滑らかにかななをかけた板目のシダー材は表面処理が望ましい場合もあります。板目の木は50~60番のサンドペーパーで表面を処理します。この工程はコーティングがうまくいくようにするためのものですが、滑らかな仕上げを損なうことはありません。表面処理は、清潔な木肌のシダー材には必要ありません。

風雨に晒されたウエスタンレッドシダー

2週間以上風雨にさらされたシダーの外壁と板材は表面が劣化していて、きれいに塗装することができません。塗装仕上げをする前に、サンドペーパー、ブラシ(鉄以外の剛毛ブラシ)、および水洗いで表面に回復処理を施すことをお勧めします。



ウエスタンレッドシダー材デッキの外装用塗料

EXTERIOR FINISHES FOR WESTERN RED CEDAR DECKS

最適な効果を出すデッキの塗装

ウエスタンレッドシダーはデッキ材として理想的な自然の耐久性を備えています。適切な塗装仕上げによってさらに耐久性が高まります。デッキは劣化を引き起こす太陽光線や雨に全面的に晒されます。水平な表面、歩行による摩耗、打ちつける雨、および太陽光線への全面的な露出のすべてに対処する必要があるため、デッキの塗装は外壁など他の塗装に比べてさらに高い耐久性が求められます。ウエスタンレッドシダー材のデッキ板への塗料は、その塗装目的のみに特に組成されたものであることが重要です。

未乾燥のデッキは空気乾燥させて(直射日光は避けてください)、取り付け前にすべての面に塗装を施します。

デッキ塗料の選択

シダー材のデッキには浸透性と造膜型の塗料が幅広く揃っています。浸透性の塗料は膜を形成しないため、全体的により高い効果が得られ、メンテナンスと再塗装が最も容易です。

浸透性の塗料には、剥がれや割れは起こりません。これらの塗料には撥水効果があり、防カビ剤が含まれていると、うどん粉菌など微生物の増殖が抑制されます。浸透性の塗料は、シダー材デッキの自然な仕上げによく使用されます。浸透性の塗料には、撥水剤、撥水防腐剤、および溶剤性半透明ステインの3種類があります。このうち最適な塗料は、溶剤性半透明ステインです。

透明ステインと撥水剤

これらは実質的には無色の浸透性塗料で、シダー材デッキに一般的に使用されるものです。これらの自然な塗料

はシダー材デッキの見た目を美しくするとともに耐用年数を延ばします。撥水防腐剤には防カビ剤が含まれ、また多くの場合に表面のカビの増殖を抑制する殺菌剤も含まれているため、撥水剤よりも適しています。撥水剤の多くには紫外線遮断剤または吸収材が含まれ、ウエスタンレッドシダーを太陽光線による劣化から保護します。現時点では、溶剤性の塗料が最適です。撥水防腐剤の塗料は水分の吸収を非常に効果的に抑え、木材の膨張や収縮を軽減します。撥水剤は、新しく製造された未加工のシダー、回復処理された裸木のシダー、または同一の製品で処理されたシダーにのみ使用してください。自然な仕上げに使用する場合、木材と露出の状態によりますが、撥水剤の耐用年数は1~2年ほどです。

半透明ステイン

半透明ステインには、色と仕上がりの耐久性を大幅に高める色素が含まれます。色素は日光を遮ってシダー表面を保護するため、耐用年数が長くなります。品質の良い製品には、撥水剤と、防カビ剤または防菌剤が含まれています。溶剤性の半透明ステインは造膜せずにシダーに浸透するため、過剰な水分がシダーに浸透しても膨張や剥がれを起こしません。しかし、ラテックスの半透明ステインは、特に塗り直しの場合に膜を形成することがあり、剥がれの生じる恐れがあります。現在開発中のラテックスのステイン塗料によりこの問題が解決される可能性があります。

デッキの再塗装が必要な場合に、半透明のステインへの切り替えが可能です。デッキを長年クリアまたは透明のステインでコートしていたとしても、油性ステインを塗布して木材表面をきれいにすることができます。

注: 造膜型の塗料は、割れや剥がれが発生して再塗装や手入れが非常に困難なことから、通常はウエスタンレッドシダーのデッキにはお勧めしていません。

デッキの塗装技法

APPLICATION TECHNIQUES FOR DECKS

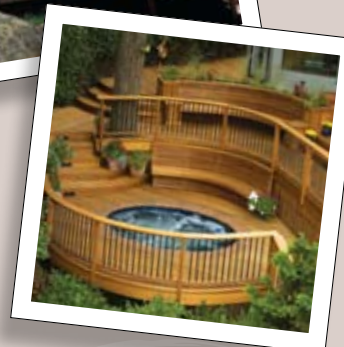
シダー材デッキへの最初の塗料は最も重要です。最初の塗料が適切に施されないで、後に生じる問題への対応が難しくなるでしょう。最初の塗料は、シダー表面が乾燥したあとすぐに塗布してください。デッキは洗浄する必要がありますが、水圧洗浄は決して使用しないでください。木材表面の繊維を損傷して、塗料の接着力が弱くなります。工場での塗装が最良の選択であり、ほとんどの市場で利用できます。

半透明ステイン

半透明ステインは木材表面から内部に均等に浸透するため、刷毛を使用してデッキに塗布することが最適です。木材の柃目方向に刷毛で十分に塗布します。ラップマークを避けるために、一度に2枚または3枚の板全体にだけ塗ってください。乾燥したステインと塗りたてのステインが重ならないようにしてください。ラップマークが生じる原因となります。乾燥率が低くなる日陰で作業を行うことによりラッピングを減らせます。水性ステインは乾燥の速度がより遅いため、溶剤性ステインよりもラップマークは形成されにくくなりますが、溶剤性ステインよりも表面に厚い膜を形成するため耐久性が低下する可能性があります。木が吸収できる量以上のステインを塗らないでください。吸収できないところに照りが出ます。デッキボードの木口、釘穴、およびボードの割れ目までステインを十分に塗布してください。最も効果的に保護するためには、デッキボードのすべての面にステインを塗布することが必要です。

透明ステインと撥水防腐剤の塗布

木材への透明ステインの塗布方法は、前述の半透明ステインで説明した方法と同様です。しかし撥水剤はあまり目立たず、刷毛、パッド、ローラーで塗布して、そのあとに刷毛で塗料をなぞります。ウエスタンレッドシダー材が撥水剤を吸収できなくなるまで刷毛塗りを繰り返すと(拒絶点として知られています)、仕上がりの耐久性が高まります。木材に吸収される撥水剤塗料が多いほど、耐用年数が長くなります。ラップと木口の継ぎ手、辺およびボードの端すべてに十分な量の撥水剤を塗布してください。釘穴や割れ目など水分の浸透に弱い他の部分にも十分な塗布が必要です。



CARE & MAINTENANCE

手入れとメンテナンス

塗装の施されたウエスタンレッドシダーのデッキ、外壁および板材が屋外の風雨に晒されると、表面は、汚れ、カビ、藻および苔により変色します。これら自然の要素により塗料は徐々に腐食するため、シダーに塗布された塗料には定期的なクリーニングとメンテナンスが必要となります。メンテナンスの度合いは、現地の気候条件、塗料の種類および用途(デッキまたは外壁)により異なります。

ウエスタンレッドシダーの塗料の変色

ウエスタンレッドシダーは、多様な塗料を使用でき、その仕上がりを長く維持できることで高い評価を得ています。それでもやはり、分解劣化と変色によって塗装の寿命は短くなります。変色の原因に対しては改善処理が必要となります。

土埃

土埃は最も害のない変色の原因で、通常問題とはなりません。薄めた非リン酸系洗剤液で定期的に洗浄することによって、表面を元通りにすることができます。

うどん粉菌

うどん粉菌は、変色菌によるペンキとステインの変色の一般的な原因です。再塗装でうどん粉菌の問題を解決することはできません。再塗装する時期になったら、薄めた漂白剤(酸素漂白が望ましい)または市販のうどん粉菌除去剤を使用してうどん粉菌を取り除いてください。木材を完

全にすすいで乾燥させた後、効果的な防カビ剤を含むコーティングで再塗装します。

ヒント:コーティング上にうどん粉菌が存在するかどうかは、シミ部分に家庭用液体漂白剤(5%の次亜塩素酸ナトリウム)の新鮮な液体を1~2滴落とすことで簡単に確認できます。うどん粉菌の濃い色は通常15~30秒で漂白されます。漂白されない変色は他に原因がありますので、さらに調査が必要です。

抽出成分の滲出

塗装の変色を引き起こす抽出成分の滲出は常通は水分によるものです。抽出成分の滲出によるシミを止めるには、水分に関する問題を解決しなくてはなりません。薄いシミは雨が降れば数週間で洗い流されます。雨の当たらない箇所は、時間の経過とともにシミは濃くなり除去が難しくなります。薄い洗剤液で落ちない場合は、薄いシュウ酸溶液が、水、タンニンまたは鉄によるシミを除去するのに効果的です。市販の除去液も使用できます。シミが落ちない場合は、アルキドプライマーで下塗りし、ラテックスコーティングでトップコートを施してください。

鉄によるシミ

鉄によるシミは2通りあります。錆による赤茶色のシミと、釘やその他の金属とシダーからの抽出成分が反応してできる青黒いシミです。これらの変色を防ぐためには、溶融亜鉛メッキ釘、アルミニウム釘、またはステンレス釘のいずれかを使用してください。鉄によるシミを取り除くには、市販のクリーナーを使用してください。シミが木材表面を透過している場合は、簡単なヤスリがけ、またはブラッシングが必要となることもあります。

水によるシミ

水によるシミはしばしば抽出成分およびカビと組み合わせることができます。これらのシミは除去が困難です。シュウ酸溶液でこすり落とせる場合もあります。

注意:シュウ酸溶液は有害になることがありますので、取り扱いにご注意ください。必ず指示に従ってください。

白亜化

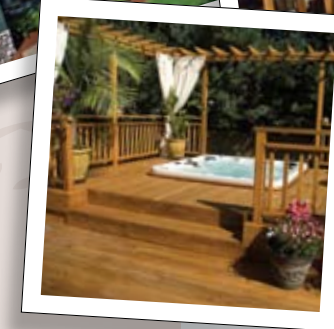
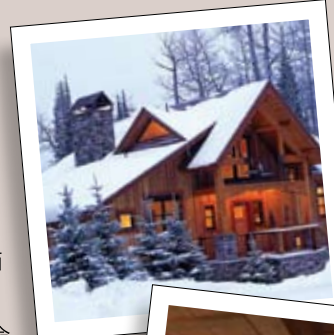
白亜化は塗膜が風化した場合に、顔料が細かい粉末になって塗装表面に現れるものです。白亜化は塗膜の劣化によるもので、シダー材によるものではありません。白亜化は着色塗料の褪色の一般的な原因です。

剥がれ、膨張、剥落

剥がれ、膨張または剥落など塗装の破損は、ペンキの下に水分がたまったり、木材に塗布した塗膜の接着不良が主な原因です。風化した木材に塗装を施すと、この問題はさらに悪化します。

定期的なメンテナンスにより塗装とデッキの寿命を延ばす

濡れた後に乾くデッキは、湿ったままのものより長持ちします。シダーデッキには継続的に次のメンテナンスを行います。適切に排水する。表面から土埃、葉、針葉、その他のごみを取り除く。プランターやベンチなどの装飾物を時々移動させて、デッキの湿った場所を完全に乾かす。デッキ下の換気を妨げない。



ウエスタンレッドシダーの 外壁と板材の回復処理 RESTORING WESTERN RED CEDAR

CLADDING AND TRIM

良好な表面処理は、耐久性があり長持ちする外装仕上げに不可欠なものです。事前準備が十分ではなかったことによる外装コーティングの失敗は、不十分な表面処理に原因があり、次のような結果を招きます。

- ・ 仕上げコーティングの接着不良
- ・ 表面の変色
- ・ 不均一な仕上げコーティング(光沢、色および表面隠し)
- ・ 耐食性の不足

表面処理でまず行うことは、表面の状態を調べて必要な修理を施すことです。表面からは土埃、うどん粉菌および遊離した物質(後述)をすべてきれいに取り除きます。

ペンキとソリッドカラー・ステイン

ウエスタンレッドシダーの表面に再塗装が必要なのは、古いコーティングが薄くなり木を保護できなくなった場合のみです。外壁や板材のペンキやソリッドカラーのステインを再塗装する場合、古いコーティングの除去が必要となります。例えば、古い塗装に大きな割れや剥離が見られる場合などです。これらの塗装はさまざまな手順により取り除けますが、その手順はすべて難しく、時間と費用がかかるでしょう。木を損なう可能性のある手順もあります。例えば、ウエスタンレッドシダーからコーティングを取り除く場合には水圧洗浄は決して使用しないでください。木材表面の繊維を損傷して、再塗装時の塗料の接着力を弱めます。

不透明仕上げの再塗装

ペンキまたはソリッドカラーのステインで塗装されたウエスタンレッドシダーには、最初に塗布されたものと同じ種類の塗料で再塗装するのが最良です。異なる種類の塗料を用いても問題のないこともありますが、古いラテックスコーティングは必ずラテックスコーティングで再塗装

し、油性コーティングは決して使用しないでください。油性塗料をラテックスの塗料で再塗装できるのは、油性塗料を適切に取り除き、プライマーコートを最初に塗布する場合のみです。新しい塗装コートの効果を最適にするためには、再塗装の前に適切な表面処理と洗浄が不可欠であることを常に念頭に置いてください。

古い表面を再塗装するには、最初に、遊離、ひび割れ、または剥離の生じた塗装をすべてこそげ落とします。塗装を落とした木と塗装の残った部分にヤスリをかけて、木の端を滑らかに「削り」ます。うどん粉菌はウエスタンレッドシダーを再塗装する前に必ず殺菌し、除去してください。そうしなければ、うどん粉菌は新しいペンキまたはソリッドカラーのステインを通して増殖してしまいます。うどん粉菌の除去には市販のうどん粉菌除去剤または薄めた家庭用漂白溶液(酸素系)を使用し、除去したあとは清潔な水で液剤を完全に洗い流してください。これらの処理を終えた後に、表面を水をかけて剛毛(ワイヤー以外)ブラシでこすり、清潔な水で洗い流します。洗浄した表面が乾いてからコーティングを施し、プライマー塗料を裸木に塗ります。プライマーが乾いたら、1~2種類のペンキまたはソリッドカラー・ステインのトップコートを塗布します。下塗りした裸木には、いずれの場合においてもトップコートを2種類塗布する方が効果的です。

クリアな半透明ステインと漂白オイルの再塗装

油性塗料と撥水防腐剤は、剛毛ブラシ(金属以外)と水で古い表面を簡単に洗浄し、新しい塗装コートを塗布することにより元の状態にすることができます。洗剤を用いてカビをこすり落として水で洗浄する方法が適している場合もあります。損傷のひどい場合は、うどん粉菌除去剤を使用する必要があります。2度目に塗布する撥水防腐剤は1度目のものよりも長持ちします。これは、木材が風化するにつれて表面に小さな割れ目ができ、そこに浸透するためより多くの塗布が可能になるためです。表面が粗くなるほど塗布できる塗料の量が多くなり、耐用年数も長くなります。

半透明の油性浸透性ステインは、再塗装のための取り扱いが比較的容易です。通常は塗装を入念にこそげ落としたりヤスリをかけたりの必要はありません。剛毛ブラシ(金属以外)を使用して、土埃、塵、および遊離した木材繊維をすべて表面から取り除くだけです。正しい手順に従ってうどん粉菌の汚染を除去したあとで、ステインの新しいコートを塗布します。2度目に塗布する浸透性ステインは1度目のものよりも長持ちします。これは、木材表面の

小さな割れ目にステインが浸透するためより多くの量を塗布できるためです。ウエスタンレッドシダーの洗浄にスチールウールやワイヤーブラシは決して使用しないでください。金属の堆積物がシダーに自然に発生する化学物質と反応して、表面に青黒いシミができます。風化ステインと漂白オイルは半透明の油性浸透性ステインと同じ方法で再塗装します。

半透明のラテックスステインは非常に薄いペンキに似ており、再塗装の前により入念な表面処理(こそげ落とし、ヤスリかけなど)が必要となることがあります。頻繁に再塗装することで膜に厚みが出ないように注意してください。製造会社の説明書をよく読んで指示に従ってください。

風化したウエスタンレッドシダー

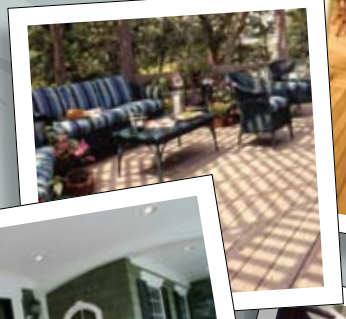
無塗装の風化したウエスタンレッドシダーの外壁や板材は、市販の「洗浄剤」、「光沢剤」または「修復材」により元の色を回復することができます。これらはデッキのように水平に取り付けられた木の表面を回復するものですが、垂直面にもほぼ同様に使用することができます。製品の中には垂直面でも垂れ落ちにくくするよう、溶剤に粘り気を出す成分が含まれているものもあります。詳細については「デッキ塗料の回復」を参照してください。





RESTORING WESTERN RED CEDAR DECKS

ウエスタンレッドシダー材デッキの回復



毎年、春にデッキを洗浄して土埃、うどん粉菌および変色箇所を取り除くことをお勧めします。年に1度洗浄することによりデッキの見た目がよくなり、保護コーティングの寿命が長くなります。ぬるめの石鹸水でこすると土埃は落ちますが、前述のように、うどん粉菌を除去するためには薄めた家庭用漂白剤(酸素系)が必要です。ほとんどの塗料製造会社は、自社製のデッキ塗料と合わせて使用できるデッキ洗浄製品を製造しています。「洗浄剤」、「光沢剤」または「修復剤」と呼ばれるこれらの製品は、ウエスタンレッドシダー材から塗料をはがすことなく異なる種類の変色箇所を取り除きます。これらの洗浄剤のほとんどは、シダー材の表面から土埃や、うどん粉菌や藻による変色箇所を除去しますが、鉄およびタンニンによるシミや風化した(グレーの)木の部分を除去できるかどうかは製品により異なります。これらのデッキ洗浄液のなかには風化したシダー表面から実際に木を削り取るものもありますので、使用する際には十分に注意してください。前述のように水圧

洗浄器はシダーデッキの表面をひどく損なうため、シダーデッキやその他のシダー製品にこの種類の洗浄はお勧めできません。

デッキの表面はシダー材の色が薄れ始めたところに再塗装してください。新しい塗料は木材に浸透させる必要があります。仕上げのタイミングが早すぎると塗料が十分に吸収されません。遅すぎると風化した木材にコーティングを塗布することになり、仕上げ効果が低下します。ウエスタンレッドシダー材デッキの再塗装で最初に行うことは(前述のように)洗浄です。デッキの表面を洗浄してきれいに洗い流したあと、自然に乾かします。木材の含水量は20%未満に保つ必要があります。半透明ステインまたは透明ステイン、および撥水剤によるデッキの再塗装は、前述のように塗料をブラシ、パッドまたはローラーを用いて塗装するだけで済むため、比較的容易です。ステインは表面が風化してより浸透性が高くなった箇所に容易に浸透します。それ以外の部分は、表面が塗料により覆われます。余分な塗料をブラシで取り除くことにより、塗料

の付着を防いでください。デッキを再塗装する際にステインを塗布しすぎると、表面にステインの膜が形成されてペンキのようなため、将来のメンテナンスの手間(塗料のこぼれ落とし)が余計にかかります。

長期間風雨に晒されたウエスタンレッドシダーの本来の自然な見た目を維持するのは容易ではありません。塗料がより自然で透明であればあるほど、木材の本来の色を保つことが難しくなります。最終的にはデッキの表面から風化した塗料を完全に剥がして、最初から始めるという状況もあり得ます。その場合、変色箇所や風化した繊維とともに木材からステインを除去する強力洗剤/剥がし剤を使用します。しかし、シダーを元のような見た目に完全に回復するのは非常に難しいとお考えください。市販のステイン剥がし剤を使用して、ウエスタンレッドシダーから油性ステインおよびアクリルステインを除去します。ほとんどの剥がし剤は液状で、購入後すぐに使用できます。使用後、残った洗剤や剥がし剤を木材の表面から完全に洗い流し、木材を乾かしてからコーティングを塗布します。

ウエスタンレッドシダーの内装用塗料

INTERIOR FINISHES FOR WESTERN RED CEDAR

内装の塗装は保護をあまり必要としません

パネル、柱、梁および建具類などの屋内用材としてのウエスタンレッドシダーは、外壁、板材、デッキなどの屋外用材ほど保護を必要としません。そのため、多種多様な塗料が使用できます。例外は、浴室などの湿度が高い場所にウエスタンレッドシダーが晒される場合です。このような場所では、外装用と同等の耐湿性に優れた塗料を使用してください。コーティングは内装用として推奨されていることを必ず確認してください。

屋内用材としてウエスタンレッドシダーを選択するほとんどの人は、その自然な見た目を保つことを望みます。そのためには、ワックス、セラックニス、およびその他のクリアな造膜塗料を使用してください。これらの「内装」塗料により細かい摩耗や液体からシダー材をある程度保護し(ワックスの場合は保護効果は低くなります)、表面の清掃がしやすくなります。

内装用のウエスタンレッドシダーは、多種多様な塗料でコーティングもできます。例えば、漂白剤、オイル、半透明ステインとソリッドステイン、および不透明な塗料は木材の見た目を変えて装飾性を高めます。これらの塗料のいくつかについては後述しますが、本節では主にシダーの自然な見た目を高め、室内の空気にとできるだけ影響を与えない塗料について説明します。

塗装前の表面処理と調整

最大の効果を得るために、木材を建物内の取り付け予定場所にしばらく置いて、事前調整してください。こうすることでシダーの平衡含水率が周囲の環境に合ったものになります。ウエスタンレッドシダーの木肌にもよりますが、細かい目のサンドペーパーで軽くヤスリがけて、表面の細かい欠点を取り除く必要があります。塗装を施す製品と同じ木材の小さなサンプルに、推奨された塗料





の試し塗りをすることをお勧めします。これによりコーティングをご要望の「見た目」にすることができます。塗料の種類を決定したら、不均一な仕上がりがや色のばらつきを避けるために、同じ銘柄の製品を一貫して使用してください。

内装塗料の選択

ウエスタンレッドシダー材は多種多様の市販の塗料を使用して、その美しい自然の色合いを高めたり変えたりすることができます。シダー材が塗料を施さず自然のままに置かれた場合、年月が経つにつれて木が黒っぽくなり、

色の差もなくなります。透明な塗料を施した場合もいくらか色が濃くなりますが、表面に保護塗膜が形成されメンテナンスが容易になります。

漂白塗料は、太陽に晒された流木のような見た目になります。この見た目を出すためには市販の漂白剤を使用します。漂白後、ウエスタンレッドシダーを自然な状態のままにしておくか、クリアシーラーをコートします。

クリアワックスは滑らかな表面のシダーに使用する塗料です。内部の光沢をきれいにし出す塗料はほとんどありません。浸透性溶媒に混ぜられた無着色の液体ワックスも市販されています。

クリア塗料または水性アクリル、ポリウレタンまたはアクリル/ポリウレタンは、ウエスタンレッドシダーの家庭用塗料として最適です。これらの塗料はブラシで塗布でき、シダーの自然な見た目を隠す黄変しないコーティングを作り出します。これらの塗料に含まれる溶剤類など化合物の割合は低いいため、屋内の空気への影響が少なくなります。これらの塗料は多数の製造会社から、フラット(艶消し)、サテン(半光沢)および光沢塗料として販売されています。銘柄を選択する際には、ウエスタンレッドシダーに琥珀の色調を与えたい場合以外は、黄変しない塗料を指定することが大切です。高光沢のポリウレタンは、最も高い耐久性を示しますが、表面の反射が強いため人によっては不快に感じることもあります。これらの塗料は屋外用には不向きです。

デニッシュオイル、タンオイル(桐油)および煮垂麻仁油は、入手が容易でウエスタンレッドシダーの滑らかな表面と粗挽き仕上げの表面のいずれにも簡単に塗布できますが、木材の色がまだらに濃くなることが多いため最後の塗布の前にサンプルで試し塗りをしてください。

クリアラッカーは、滑らかな表面に使用できます。これは目立たない塗料で、ウエスタンレッドシダーの自然な美しさをそのまま引き出します。しかし、台所や浴室など家庭で清掃を頻繁に行う場所には、この塗料はお勧めできません。

これらの塗料には速乾性があるため、ブラシよりもエアレス噴霧器を使用して塗布することに適したラッカーもあります。きれいな見た目にするために、2種類以上のコートを使用し、それぞれの塗布の前にヤスリがけすることをお勧めします。表面の耐久性を最適にするためには、最初のコートには高光沢のラッカーを使用し、それに重ねて1~2種類のマットまたはサテンのラッカーを塗布します。

クリアバーニッシュは、滑らかな表面にのみ使用することをお勧めします。この塗料はシダーに豊かな濃い色調を与えます。ほとんどの場所には2種類のコートをブラシで塗布するだけで十分ですが、台所と浴室はさらにコートを重ね塗りしてください。表面がわずかに傷つき、引っかき傷が現れることがありますが、それらは着色ワックスで修復できます。バーニッシュ塗料仕上げの表面は、石鹸水で洗浄するか、シンナーで汚れをふき取ることができます。

バーニッシュステインは色素が追加されたバーニッシュです。塗布は容易ではありませんが、幅広い種類の色調と色合いからの選択が可能です。

ペンキは、ウエスタンレッドシダーの本来の美しさを隠してしまう為、内装仕上げの塗料としては不向きです。しかし、例えば特徴を持たせた壁やドアにアクセントを付けるような場合は、以下のペンキのいずれかを使用できます。

- ・ 量とふき取りまでの時間を調整することにより、木肌を生かしながらも幅広い種類の効果を出すことができます。

- ・ エナメルはシダーの重ね塗りに使用されるもので、プライマーとエナメル・アンダーコートの間を必要とします。塗布の前に製造会社の説明書をご確認ください。

- ・ グレージングとアンティーキングは、アルキドまたは油性のペンキの上に透明または半透明のつや出し剤を、場合によっては数層も重ね塗りする革新的な塗装技法です。この技法は一般的には品質や特性の劣る木材に対して使用されますが、ウエスタンレッドシダーには非常に適しています。

ステイン

透明、半透明、および不透明の3種類のステインを内装に使用することができます(製造会社により承認された場合)、装飾的な色のアクセントが加わります。保護をあまり必要としないため、薄く色のついた製品が使用され、木材の自然な木肌を隠すことなく必要な色調を表します。通常はブラシを使用して一度塗りするだけで十分です。

外装用のステイン同様、塗布の前にすべての土埃と塵を必ず取り除いてください。ステインは頻繁にかき混ぜて色の均一性を保ち、ウェットエッジを常に維持してラップマークを作らないようにします。

ステインを選択する際には、色を薄くするよりも、コートを重ね塗りして濃い色にする方がはるかに容易であるこ

とを覚えておいてください。

- ・ 油性ステイン、つまり内装用として製造会社により承認された高粘稠度の半透明油性ステインはウエスタンレッドシダーに適したものです。これらは粗挽き仕上げの表面に控え目に塗布された場合に特にその魅力を発揮します。滑らかな表面では、ふき取り技法でさまざまな度合いの透明性を演出できます。コーティングの製造会社が内装用の製品として承認していることを確認してください。

- ・ 浸透性木材ステインは滑らかな表面にのみ使用できる油性の塗料です。基本色の種類は豊富で、これらを混ぜ合わせて中間色の濃淡を出すことができます。通常はブラシでコートを一度塗りしたあと2~3分経ってから余分な塗料をふき取ります。塗装を均一にするために、一度に塗布するのは狭い範囲にとどめ、そこをふき取ってから次の範囲を塗布することをお勧めします。



参照資料

WRCEAの「ウエスタンレッドシダーの塗装方法」はウエスタンレッドシダー材の美しさを長持ちさせるための、塗装やメンテナンスに必要な「最良の方法」をまとめたものです。塗装は、このガイドでは伝えきれないほど内容が広範囲にわたります。そのため、WRCEAではこの興味深い題材についてさらに詳しく知りたいと思われる方に、このガイドに記載した内容の情報源である以下の出版物やウェブサイトをご覧になることをお勧めしています。

ウェブサイト:

www.FPL.FS.FED.US

出版物:

The Joint Coatings & Forest Products Committee (2009). Improving The Performance of Painted Wood Cladding: Rain Screen, End-Grain Seal, and Back Priming available in PDF at www.wrcla.org

The Joint Coatings & Forest Products Committee. Frequently Asked Questions: Wood and Coatings Application. Available in PDF at www.wrcla.org

Allen, S. (2006). The Wood Finisher's Handbook. Sterling Publishing Co. Inc., 224 p.

Charron, A. (1998). Water-Based Finishes. The Taunton Press, 156 p.

Evans, P.D., Thay, P.D., Schmalzl, K.J. (1996). Degradation of surfaces during natural weathering. Effects on lignin and cellulose and on the adhesion of acrylic latex primers. Wood Science and Technology 30(6): 411-422.

Flexner, B. (2005). Understanding Wood Finishing (2nd Ed.). Fox Chapel Publishing, 308 p.

Jewitt, J. (2004). Taunton's Complete Illustrated Guide to Finishing. The Taunton Press, 294 p.

Podgorski, L., Georges, V., Garmendia, I., Sarachu, B.S. (2009). A fast and economic method to produce grey wooden surfaces for decking and cladding: preliminary results. The International Research Group on Wood Protection Document IRG/WP 09-40474, 11 p.

Williams, R.S. (1998). Solid-color stains on western red cedar and redwood cladding. The Finish Line, 2 p.

Williams, R.S., Knaebe, M.T., Feist, W.C. (1996). Finishes For Exterior Wood. Forest Products Society, 128 p.

Williams, R.S., Feist, W.C. (1999). Water repellents and water-repellent preservatives for wood. USDA Forest Service, Forest Products Laboratory Report. FPL-GTR-109, 12 p.

本パンフレット刊行にあたり、下記の皆様から手厚いご支援をいただきました。



通告: ウエスタンレッドシダー輸出協会(WRCEA)は、本書に記載されている情報の正確性を保証するものではありません。WRCEAとその取締役、役員、社員、受託業者および代理業者は、本書に記載されている情報に関わるいかなる訴訟原因、損失、損害、傷害または死亡について、例えその訴訟原因、損失、損害、傷害または死亡が、WRCEAの怠慢または不履行によるものであったとしても、責任または法的責任を負うものではありません。WRCEAの取締役、役員、社員、受託業者および代理業者は常に地域および国の建築基準を守るものとします。